

福島第一原子力発電所3号機使用済燃料プール内
ガレキ撤去作業中における
燃料交換機操作卓の落下について

平成26年9月1日
東京電力株式会社



東京電力

1. 概要／調査結果

発生日時：平成26年8月29日 12時45分頃

発生場所：3号機原子炉建屋 使用済燃料プール

発生状況および調査結果

：平成26年8月29日12時45分頃，使用済燃料プール内のガレキ撤去作業において，燃料交換機の操作卓をクレーンにて吊り上げるため，専用治具（フォーク）にて操作卓を掴もうとしたところ，操作卓（約400kg）および張出架台（約170kg）が当該プール東側中央付近に落下した。

なお，水中調査は8月30日に実施した。

落下した操作卓・張出架台の一部は養生材の上に乗っているが，ほとんどが燃料ラックの上部に乗っている状態が確認できた。

使用済燃料集合体そのものは，ガレキが累積しており直接は確認できなかった。

現在の使用済燃料プール内の燃料貯蔵配置，機器材の配置および落下位置の映像情報から，操作卓と張出架台が接触した可能性が考えられる使用済燃料集合体数は，10体程度と推測される。

2. 落下時の状況

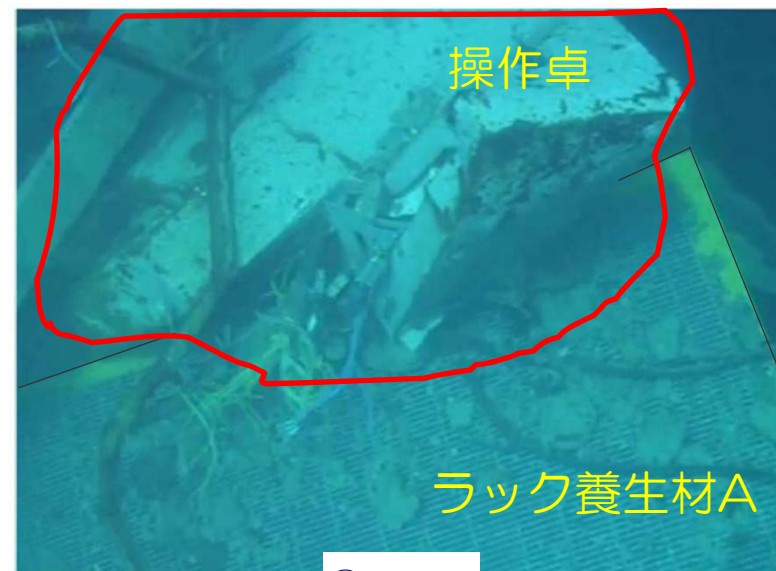
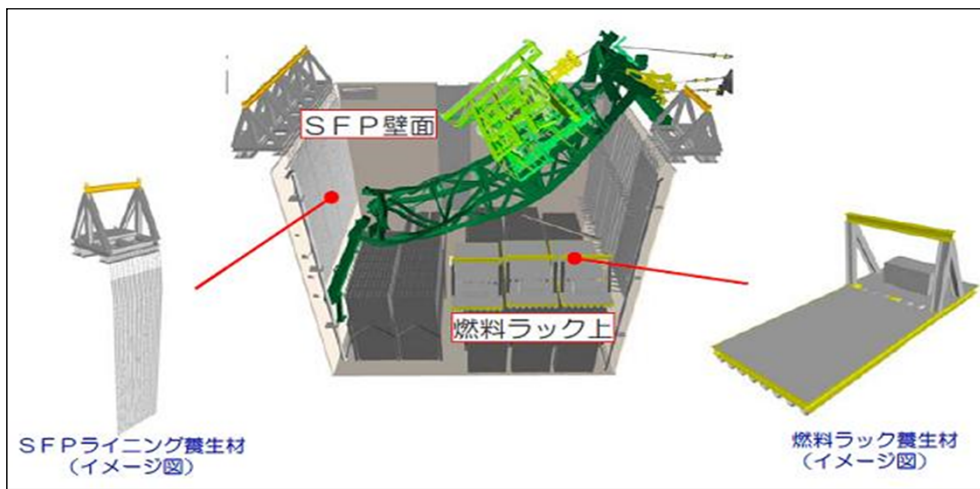


撤去前の操作卓の状況
(南側 上方より撮影)

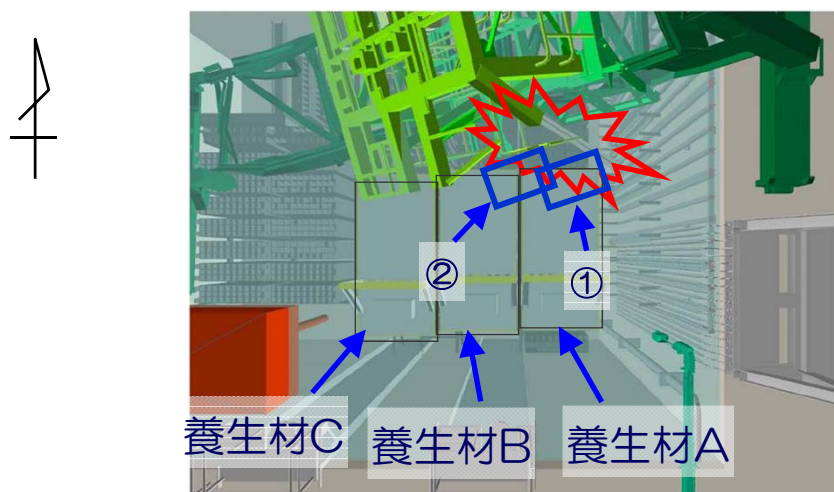


撤去中の状況
(西側 側方より撮影)

3. 現場状況図



①の状況



南側斜めから見た図



ラック養生材B

②の状況

4. 使用済燃料の健全性

◆使用済燃料について

- 現在の使用済燃料プール内の燃料貯蔵配置，使用済燃料プール内の機器材の配置，および落下位置の映像情報から，操作卓と張出架台が接触した可能性のある使用済燃料体数は，10体程度と推測される。
- ラック養生材は，約750kgに耐えられる設計になっている。
- また，監視パラメータ※は，当該事象発生前後で有意な変化は無く安定しており，現在も継続監視中である。

※使用済燃料プール水位・放射能濃度、モニタリングポスト指示、
オペフロ雰囲気線量